

ハンドボール部西日本インカレ3位!

経スポ

驚異の28年連続48回目!

全日本出場決める



西日本学生ハンドボール選手権大会で、本学のハンドボール部が3位の成績を残し、11月23日(土)〜27日(水)に開催される全日本学生ハンドボール選手権大会へ、28年連続48回目の出場を決めた。

本学の持ち味である、ディフェンスからの速攻を活かし、予選リーグを全勝で難く突破。

決勝トーナメントの初戦で当たった大同大学は、春季リーグで王者中京大学に唯一勝利していた強豪校である。本学にとっては、昨年度の同大会予選リーグで敗北を喫し、辛酸をなめることとなった相手だ。今回ビデオ研究で最も時間を費やした努力も結実し、見事19対18でリベンジを果たした。

続く準決勝戦では、中京大学に23対26で惜しくも敗れたが、堂々の3位となり



全日本への出場を決めた。また、オフェンスの要として活躍した永井主将(人科4年)は、優秀選手賞に選ばれた。

今回の結果を勝ち得たのは、選手や指導者の努力に加え、保護者の方々の応援があつたからである。遠く離れた熊本県での開催にも関わらず、いつものように駆けつけ、のぼりやスティックバルーンを使ってどの大学よりも熱い応援を送っていた。

本大会で残った課題は、

試合内でのミス(パスミスやノーマークでのシュートミス等)を無くしていくことだという。「ディフェンスをさらに強固にした上で、攻守の切り替えを素早くし、チャンスでしっかり得点することが大切。まずは秋季リーグで優勝し、全日本に向けて勢いをつけたい。」と川上主務(経情4年)は語る。

練習と研究を重ね、高みを目指す本学ハンドボール部が、全日本の舞台上で活躍する姿を大いに期待したい。

発刊：大阪経済大学 経大
スポーツ文化振興室

